

玉名市
市史跡

日本マラソンの父

かなくり

金栗さんの



ふるさとと玉名で

大河ドラマ撮影

玉名が生んだ「日本マラソンの父」金栗さんが主人公の大河ドラマ「いだてん」。

その撮影が和水町の生家に続き、青春時代と後半生を過ごしたここ玉名市でも行われました。



100年前の玉名の賑わいを市史跡「高瀬船着場跡」で再現

5月6日、7日、9日の3日間、来年の大河ドラマ「いだてん」の撮影が玉名市内で行われました。6日は、菊池川に面し古くから米の集積地として栄えた高瀬船着場跡の「俵ころがし」周辺で、金栗さんや妻スヤさん、養子に行った池部家の人たちが暮らした明治時代の玉名の情景を撮影。朝から降り続く雨の中、川岸に組まれた撮影セットで金栗四三役の中村勘九郎さんをはじめとした俳優陣に加え、仕入農家、行商、露天商、女学生役などの地元エキストラ約70人が参加。熱演する出演者とスタッフ総勢150人にもなる大掛かりなロケで、撮影現場は冷たい雨も吹き飛ばす熱気に包まれていました。この日は、市職員も警備スタッフなどで撮影に協力しました。

撮影現場を見学を訪れた金栗さんのご親族の皆さんも、「撮影現場を初めて見て感動しました」「スヤさんは美人だったとお伝えしましたが、まさか綾瀬はるかさんに演じていただけとはびっくりしました」など、ドラマや玉名の盛り上がりへの期待を話しておられました。